

週間漁海況情報 2024年第32号

令和6年8月6日発行

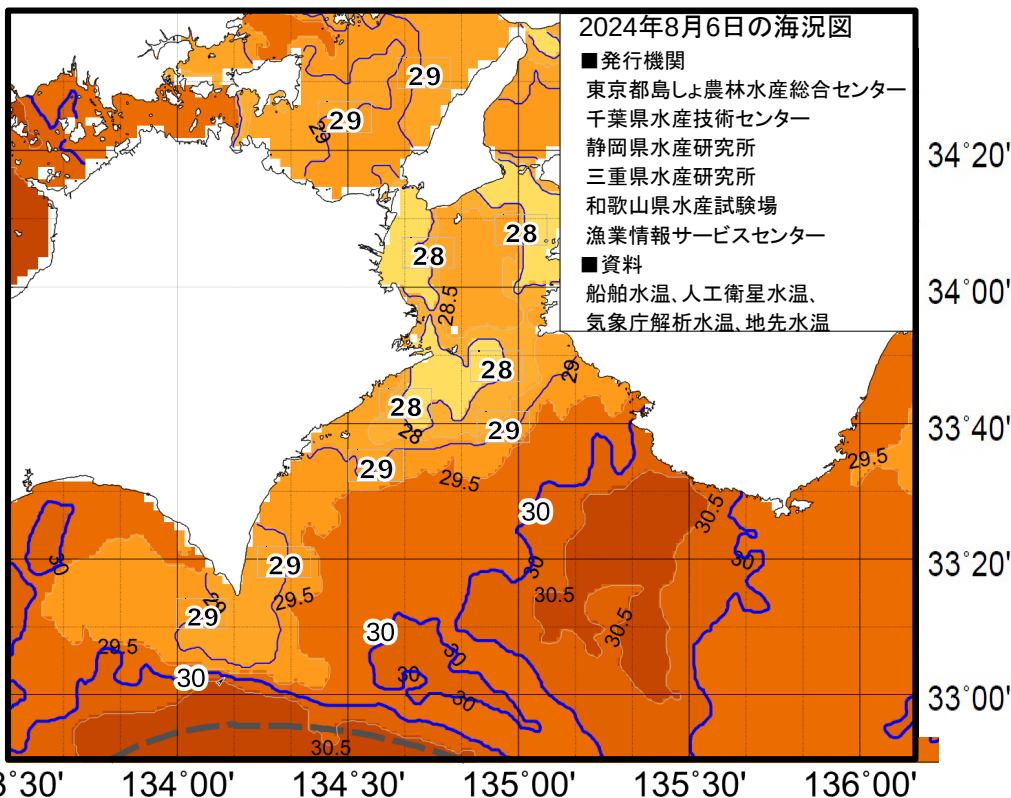
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖35マイル付近、潮岬沖65マイル付近を流れ、室戸で「やや離岸」、潮岬で「離岸」しているが、先週に比べて接岸した。

黒潮の表面水温は29～30℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で28～29、紀伊水道で27～28、海部沿岸で27～29℃台となっている。

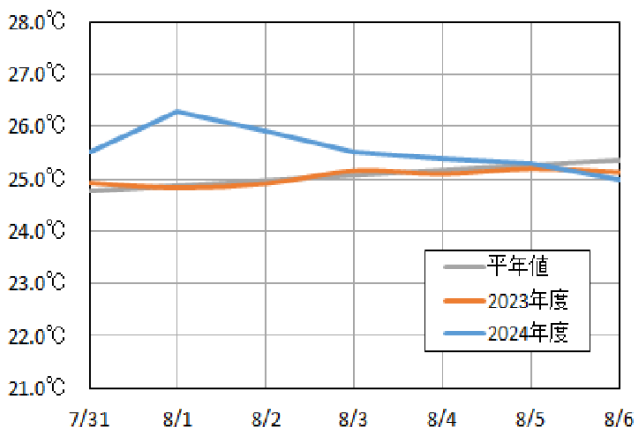


※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)
 室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
 潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~
 ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。
 直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

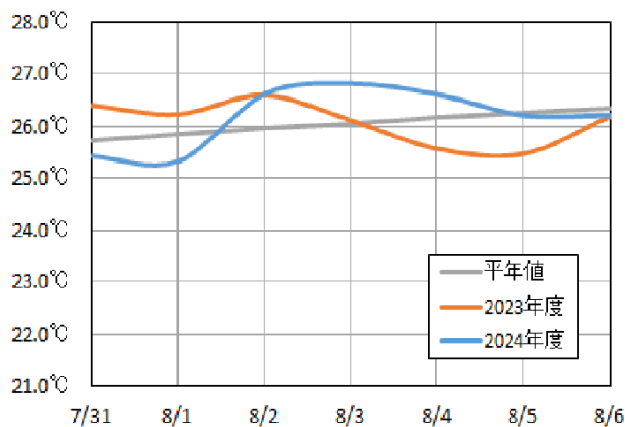
2. 地先水温(7月31日~8月6日)

鳴門地区の水温は、25.0～26.3℃で「平年並み」から「やや高め」、浅川地区は、25.3～26.8℃で「やや低め」から「やや高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は-1.0～1.3℃で、先週と比べて広がった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(8月7日~8月13日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「離岸」して推移する見込み。
 地先水温は、鳴門地区、浅川地区ともに「平年並み」で推移する見込み。

漁況 (7月29日～8月4日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 5)

船びき網では、シラスが162ト水揚げされた。

延縄では、ハモが増えて中主体に8.2ト、あまだい類が0.7ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが減って中主体に3.5ト、えそ類が増えて0.5ト水揚げされた。

小型定置網では、イサキが増えて1.1ト、マアジが0.9ト、ブリがめじろ級主体に0.5ト、ふえふきだい類が減って大主体に0.3ト、マダイが増えて0.3ト、かます類が増えて0.2ト、カワハギが大主体に0.2ト、マダコが大主体に0.1ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

釣りでは、イサキが増えて0.1ト水揚げされた。

延縄では、キダイが減って大主体に0.4ト、あまだい類が増えて0.2ト、

アカムツが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、ウルメイワシが大きく増えて3.5ト、カタクチイワシが大きく増えて0.4ト、

かます類が減って小小主体に0.2ト、マルソウダが0.1ト、

カンパチが大きく増えて0.1ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	100	シラス	162,000	1,620		→
	延縄	69	ハモ	8,209	119	中主体	↗
		52	あまだい類	731	14		→
	底びき網	38	ハモ	3,517	93	中主体	↘
		33	えそ類	532	16		↗
	小型定置網	20	イサキ	1,083	54		↗
		26	マアジ	904	35		→
		13	ブリ	528	41	めじろ級主体	→
		7	ふえふきだい類	264	38	大主体	↘
		22	マダイ	255	12		↗
		4	かます類	235	59		↗
		27	カワハギ	215	8	大主体	→
	20	マダコ	115	6	大主体	→	
海部沿岸	釣り	26	イサキ	136	5		↗
	延縄	8	キダイ	371	46	大主体	↘
		24	あまだい類	174	7		↗
		27	アカムツ	151	6		↗↗
	小型定置網	10	ウルメイワシ	3,549	355		↗↗
		7	カタクチイワシ	367	52		↗↗
		10	かます類	183	18	小小主体	↘
		9	マルソウダ	138	15		→
		9	カンパチ	117	13		↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘